2025年9月6日(土)

(小雨一部中止)

鶴間会館 午前9時より

『トカラの地震は未だ収束時せず』

防　災　訓　練

この先も 家族を守るために

『自宅避難を考えよう』

消火器で **初期消火訓練** 起震車で **震度７を体験**

防災用品展示 (町内会備蓄)

段ボールベッド、仮設トイレ

救出資材、発電機、など

ウラへ↓続く

2025 0712 防災訓練 鶴間町内会防災防犯部 自主防災隊

鶴間町内会 防災防犯部 自主防災隊

今回の防災訓練は

昨年は「南海トラフ巨大地震 注意」の発表後、スーパーやホームセンターから**飲料水の在庫は消え**、入荷しても「一家族１ケースまで」と制限付き。今年はお米の高騰で、備蓄するにも困るほどです。

政府やマスコミが推奨する防災対策は**「いつもの対策をしっかりと」**これは何年も前から言われていることです。要するに**「普段からの備えを絶やさずしっかりとせよ」**ということです。急な準備は間に合いません。買い占めもいけません。
あちこちで地震・噴火が起きている今、自宅の備えを再確認し、足りないものはそろえ、できることは対策しておきましょう。まず身を守るために、特に寝室の家具固定！　風呂水の汲み置き、いつもの食料を多めに在庫する。

--*-- --*-- --*-- --*-- --*--

■自宅避難（車中泊含む）を考える　※ビデオかセミナーを予定

災害時、**避難所はあふれて入れない**可能性もあります。想定される鶴間小学校への最大**避難希望者は**、鶴間町内会（非会員も含みます）エリアだけで **1500 名超**、他のエリアからも来ます。対して**小学校の受け入れ容量は、定数で 350 名**。感染症が発生すればさらに少なくなります。

あなたの家族は受け入れてもらえるでしょうか？

■避難所の環境はキビシイ

避難所では様々な課題と制約が起きます。冷たい食事、少ないトイレ（たぶん汚い）。すぐ隣には知らない人が寝ています。音・匂い、ほぼ無いプライバシー。
避難所の立ち上げは関係者がやりますが、避難者同志で助け合う生活です。運営は避難者たち自身で行うことになります。掃除から食料の配布なども手分けして行います。

■そんな避難をしなくても良いように、**自宅を避難所にしましょう**。
危険がなければ不便はあっても家族が一緒だから安心。隣近所とも協力できます。
自家用車への車中泊も一考です。ガソリンは満タンに。多少の食料・簡易トイレもあればなお良し。

--*-- --*-- --*-- --*-- --*--

◆防災訓練概要

　場所：鶴間会館と周辺　日時：2025 年９月６日 ９時～11 時　小雨で一部中止
　　雨天で起震車体験、発電機・救出資材、仮設トイレなどの屋外展示は中止します。
　協力：東京消防庁町田署南出張所、町田市防災安全部防災課、
　　町田市消防団第２分団第１部、

◆鶴間会館を自営簡易避難所とすべく対応を進めています。
非常用食料、水、簡易トイレの確保、発電機、ソーラー発電、スマホの充電、夜間照明、簡易ベッドの確保などを検討・配備中です。